まち、ひと、湯前の元気と魅力を届ける［広報ゆのまえ］
yunomae 01
2017.JAN
Vol.427
新年の幸せを願って―。
JTの森の間伐材で支援
みんなの東屋贈呈式
全九州実年軟式野球大会
湯前クラブが準V
アイデアきらり、湯前中3人が表彰
発明工夫・科学研究展
湯前3チーム出場、Aチームは4位
球磨一周駅伝大会
湯前人の輝き
栗原 泉さん
1/15　奥球磨の熱い冬が開幕
公認奥球磨ロードレース告知
【今月の表紙】
湯前保育園餅つき
特集
ゆのまえNews2016

関係者がテープカットで完成を祝った

特集

ゆのまえNews 2016 BEST 10

苗の植え方を学ぶ参加者

1 新学校給食調理場が完成

4/9

子どもたちに安心でおいしい給食を

湯前町学校給食調理場の落成式が４月９日に開かれ、同13日から小中学校の子どもたちへ給食が提供されました。現在の衛生基準に対応した施設になり、子どもたちは安全でおいしい学校給食を食べています。

2 平成28年熊本地震

4/16

震度７、熊本に激震 本町も震度４を観測

南阿蘇村へ支援物資を運んだ本町の職員ら

４月14日午後９時26分、熊本県で最大震度７、マグニチュード（M）6.5の地震が発生。16日の午前１時25分には震度７、M7.3の地震が再び襲い、本町でも震度４を観測。熊本中に大きな衝撃を与えました。

3 平成28年度全国広報コンクール

5/10

本町初、広報ゆのまえが 全国広報コンクールで一席

初の受賞となった広報ゆのまえ平成27年11月号

５月10日に平成28年度全国広報コンクールの審査結果が発表され「広報ゆのまえ」が広報紙・町村部で全国２位となる一席を受賞しました。漫画の取り組みを特集した平成27年11月号を提出し、全国での表彰は本町初となりました。

4 空き家改修ワークショップ

6月～

地方創生へ、空き家改修や駅前のにぎわいづくりがスタート

空き家をみずからの手で改修する参加者

地方創生の取り組みとして空き家のリノベーションや駅前のにぎわいづくりのためのワークショップが開催されました。お試し移住体験住宅や常設の漫画図書館、駅前カフェの新設などを計画し、新しいまちづくりへの一歩を踏み出しています。

5 湯前町の「ふるさと納税」

10月～

本町のふるさと納税が 人気急上昇！

湯前の魅力的な返礼品がたくさん

平成27年12月から始まった本町の「ふるさと納税」が急増しました。平成28年４月～７月の寄附件数は球磨郡市で１番となるなどの人気ぶりをみせています。12月20日現在で寄付金額総計は約5600万円。杵つき米や焼酎などの魅力的な返礼品がたくさんあります。

6 第40回全国育樹祭

10/9

湯前の森づくりが全国で表彰

10月９日、京都府で開かれた「第40回全国育樹祭」で本町の「ふれあいの森づくり」活動が表彰を受賞しました。全国で４団体のみが選ばれる表彰で、本町とJT、紅中による企業と連携した森づくりが高い評価を得ました。

7 みんなの家表札・東屋贈呈式

10月～11月

本町の木材で復興支援 表札や東屋などを寄贈

本町の木材を使った表札に高校生たちがメッセージを書いた

被害の大きかった地域を支援しようと本町の木材に使った東屋やベンチ、テーブル、表札などを益城町へ寄贈しました。表札は県内の高校生たちがメッセージを書いて、各地域に贈られ、元気と笑顔を届けました。

8 「くまモン頑張れ絵」特別展

10/22

漫画家たちが復興を応援

「巨人の星」の作者らが描いた寄せ書き

復興を応援するための「熊本から元気を！～川崎のぼる有志一同とくまモン頑張れ絵特別展～」が10月22日から湯前まんが美術館で開催されました。１月31日まで漫画家の作品約80点が展示され、たくさんの人が来場しています。

9 復興支援「ワンピース列車」

10/29

復興へ出発進行！

くま川鉄道の車両にラッピングされた列車

人気漫画「ONEPIECE（ワンピース）」のキャラクターが描かれたラッピング列車の出発式が10月29日に開かれ、町内外からたくさんの人が集まって列車を出迎えました。まんが美術館で絵コンテなどの展示もあり、多くの人が本町に訪れています（列車の運行は２月26日まで）。

10 湯前町議会議員一般選挙

11/20

新議員10人が決定

開票作業を進める職員

湯前町議会議員一般選挙は11月20日、町内４カ所で投票、農村環境改善センターで開票が行われ、現職８人、元職１人、新人１人が当選しました。平成24年以来の改選となり、投票率は前回を2.29ポイント下回る82.25％でした。

HOTrepo ホット・ルポ

No.1

「みんなの東屋」贈呈式 湯前の木材で復興を支援

本町の木材を使って、熊本地震で被災した地域の復興を支援しようと11月29日に「阿蘇くまもと空港」近くの益城町テクノ団地で「みんなの東屋」の贈呈式が開かれ、町の木材を使った東屋やテーブル、ベンチなどが住民らに贈られました。

仮設住宅で暮らす住民のストレスや不安を和らげるために県が主体となって共同スペース「みんなの家」が県内各地に建てられていて、本町もその取り組みを支援するものです。日本たばこ産業（JT）と協力して、みんなの家の表札100枚、休憩スペースとなる板張りの東屋1棟、テーブル3台、ベンチ29脚を寄贈し、喫煙所や据え置きの灰皿なども提供されました。

東屋などはスギで作られ、両者が取り組む森林保全活動「JTの森ゆのまえ」で伐採した間伐材を使用。総材積は7.77立方㍍で、日本財団の「わがまち基金プロジェクト」を活用して作られました。

東屋は団地入り口近くの商店街スペースに建てられ、買い物をした住民らが座って食事や会話を楽しめるようになっています。11月21日には湯前町役場で建築材料を積んだトラックの出発式が行われ、町関係者らが拍手で見送り。運ばれた木材は直接現地で組み立てられました。

式典に出席した長谷和人副町長は「熊本地震発災後、町にできることとしてJT社と協力しながら支援をさせていただいた。みんなの家やこの東屋が心のよりどころとなって、将来に進む希望になれば。これからも復興への支援を続けていきたい」とあいさつしました。

湯前を出て益城町に約50年在住し、現在テクノ団地で暮らす古庄三十四さん（73＝馬場区出身）は「仮設住宅内には外で集まることのできるスペースがあまりなかった。東屋やベンチは木の香りがとても良い。天気の良い日は木の香りを楽しみながら、お弁当を作って、この場所で食べたい」と笑顔で話していました。式典後には住民らが実際にベンチに座って会話や食事を楽しんでいました。

↑商店街スペースに置かれた東屋はJTの森ゆのまえで伐採した間伐材を使っている

←職員らに見送られ、出発したトラック。木材はトラックで運ばれ、現地で組み立てられた

←東屋と喫煙所につけられている表示板には本町を含めた４団体の名前が刻まれている

←テーブルやベンチからはスギの良い香り。木のあたたかさがここに集まる人の心をいやしてくれる

式典後早速ベンチに座り、会話をする住民。日の当たる場所で↓気持ち良く話せるスペースに思わず笑顔

←完成した喫煙所の前で握手を交わす長谷副町長（左）とJTの堂園竜徳熊本支店長。両者の活動で材料を提供することができた

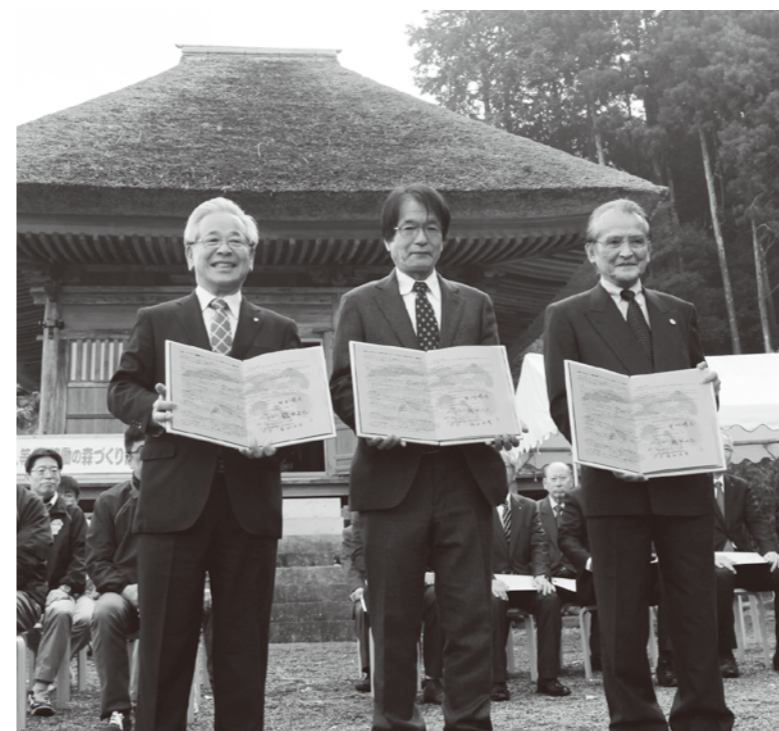
贈呈式に参加した関係者と住民ら。笑顔で東屋の↓完成を祝った

No.2 第2期「くれないの森ゆのまえ」

企業と協働、新たに1.14ヘクタールを整備

湯前町と建材総合商社「紅中」（中村暢秀会長＝大阪府）が町有林で進める森づくり「くれないの森ゆのまえ」の第2期調印式が11月26日に八勝寺阿弥陀堂で行われました。協定を結んだことで、今後5年間新たに町有林1.14ヘクタールで活動が行われます。

両者は平成23年に熊本県の「企業と共同の森づくり協定」制度を使って平成28年度まで5年間の協定を調印。町有林1.85ヘクタールでスギやヒノキなどの植林や雑草の除草などを行ってきました。第2期の協定期間は平成28年度から同32年度までの5年間。紅中の社員らが町に訪れ、町有林1.14ヘクタールで森林整備をしながら地元との交流を深めます。

調印式では、町や県関係者、同社の幹部社員ら約40人が出席。鶴田正巳町長、球磨地域振興局の福山武彦局長、同社の中村会長が阿弥陀堂の堂内で協定書に署名をしました。式典後は協定を結んだ町有林に移動し、参加者がスギの苗木780本を植えました。

3人が協定書に署名し、第2期の活動をスタートさせた

No.3 熊本県発明工夫展・科学研究物展

アイデアきらり、中田光くんの「エコボトル」が準グランプリ

第51回熊本県発明工夫展出品の表彰式が11月10日に熊本市環境総合センターで開かれ、湯前中学校の中田光くん（湯前中2年＝田上）が発明した「エコボトル」が準グランプリに値する発明協会会長奨励賞を受賞。大谷優音くん（同2年＝野中田1）の「パン耳一刀両断カッター」が優賞、第76回熊本県科学研究物展では吉田梨音さん（同校3年＝野中田1）の「鉛筆でつくる燃料電池」が良賞を受賞しました。

発明工夫展は科学技術を発展させるために熊本県や熊本県発明協会などが主催し、県内の小・中学生が発明した作品を表彰するもの。中学生の部では約1万5千点の作品が作られ、地区の審査を通過した412点の中から35点が表彰されました。

湯前中では1、2年生全員と3年生の有志が夏休みの期間中に作品を作成。生徒みずからがアイデアを出し、工夫を凝らして作品を作りました。

会長奨励賞を受賞した中田くんのエコボトルはボトルに入ったシャンプーを最後まで使えるようにした作品。ボトルの中に、半分に切ったペットボトルを入れて下の部分を細くすることで、ふたを外さず最後までシャンプーを使うことができます。

科学研究物展には県内6万点の応募があり、うち13点が入賞。吉田さんは「鉛筆でつくる燃料電池」の作品で良賞を受賞しました。そのアイデアや工夫が高い評価を受け、3人は笑顔で表彰状を受け取りました。入賞作品は11月5日から9日まで熊本市環境総合センターで展示されました。

「エコボトル」を考えた中田くん ※発明協会会長奨励賞

普段の生活でシャンプーを使っていて、残りの方がなかなか出ないのが気になっていました。ペットボトルで簡単に作れるよう工夫しました。

「パン耳一刀両断カッター」を考えた大谷くん ※優賞

まだ幼く、硬いものが食べられない弟がいて、弟がパンのやわらかい部分だけを食べられるようにしました。持ちやすく、切りやすいように取っ手の部分を工夫しました。

「鉛筆でつくる燃料電池」を考えた吉田さん ※良賞

安定した電気量を流すための準備などに時間がかかりました。実験はとても大変でしたが、理科の授業の理解度が増して、普段の学習に活かされました。

それぞれに工夫を凝らし、表彰を受けた3人

No.4 第15回全九州実年軟式野球大会

湯前クラブが九州大会で準V

第15回全九州実年軟式野球大会が11月5、6日に佐賀県で開かれ、熊本県代表として出場した湯前クラブ（川﨑菊男監督）が初となる準優勝を果たしました。

大会はトーナメント方式で50歳以上の選手が出場。高校時代、甲子園大会に出場した選手も多数いるなど、強豪が集う大会で、各県の予選を勝ち抜いた16チームが頂点を目指してプレーしました。

熊本県のチャンピオンとして出場した湯前クラブの準決勝は津久見クラブ（大分県）との対戦。初回に1点を先制され、以降も猛攻を受けますが、投手陣が要所を締め、追加点を許しません。6回裏に4番税所義治選手（51＝中猪）が左中間に走者一掃となる2塁打を放ち、3対1で逆転勝ち。決勝戦の臼杵吉四六クラブ（大分県）戦では2番中園誠二選手（51＝上里1）の2打席連続となる2塁打などで5得点を先取しますが、相手の連打に守備の乱れが重なって、逆転を許し、5対8で惜しくも敗戦。しかし、湯前クラブは発足後初となる準優勝をつかみ取りました。川﨑監督は「選手それぞれの成果もあり、自分たちの力を知る良い機会になった。目標の九州大会優勝は逃したが、来年に向かって明日からまた再出発したい。一丸となって強いチームになり、まずは熊本県大会連覇を目指したい」と話していました。湯前クラブは翌週の11月12、13日に芦北町を主会場として開催された「城南地区シニア大会」でも優勝し、昨年に続き連覇を達成しました。

九州大会での快挙も、次なる目標を見据える選手たち

Closeup Kuma Issyuu Ekiden

クローズ・アップ
第64回球磨一周駅伝大会

第64回球磨一周駅伝大会
栗原緑選手区間新、湯前A4位

第64回球磨一周駅伝市町村対抗熊日駅伝大会は12月18日、錦町役場前をスタート、錦町武道館前をゴールとする8区間、52.65キロのコースで開かれ、人吉球磨9市町村、19チームが出場。湯前Aは前回5位から一つ順位を上げる4位でゴールしました。

本町は3チームが出場。Aチームは11位でたすきを受けた4区大平修市（しゅういち）選手（多良木高2年＝浅鹿野）が順位を三つあげると、5区栗原緑（みどり）選手（千原台高3年＝上染田）が2.3キロを区間新記録となる7分19秒、7区樅木謙雄（けんゆう）選手（31＝古城区出身）の区間2位の快走で追い上げました。

後半の粘りでAチームは前回から順位を一つ上げ、トップと9分09秒差となる4位でゴール。湯前Bチームは姉妹出場となった5区栗原泉（いずみ）選手（湯前中3年＝上染田）の区間2位などの活躍もあり、12位、湯前Cチームは19位でゴールしました。全員が最後まで全力を出し、町民は沿道で大きな声を出して選手たちを応援していました。

1 圧巻の走りで区間新を記録した5区栗原緑選手 2 最長の9.1キロを区間2位で走り、後続にたすきをつなぐ7区樅木選手 3 最後まで順位を守りきり、4位でゴールした8区森川選手 4 運命の号砲が鳴り響き、一斉にスタートする各町村の選手たち

〈総合成績〉

①錦町A　2時間54分06秒
②人吉A　2時間56分46秒
③あさぎりA　3時間00分09秒
④湯前A　3時間03分15秒
⑫湯前B　3時間17分47秒
（財部薫、工藤孝昭、赤池泰誠、橋本康平、栗原泉、椎葉太、大山亮仁、工藤祐二）
⑲湯前C　3時間32分35秒
（中田光、荒木龍二、福屋博樹、溝下寛明、多田華歌、椎葉直斗、北崎順也、大野慎也）

〈個人成績〉※Aチーム
※（通過順位）〔区間順位〕

▽1区（4.35キロ・中学生）
椎葉　亮太　15分27秒（15）〔15〕
▽2区（5.88キロ）
椎葉　祐介　20分49秒（13）〔10〕
▽3区（7.69キロ）
山崎　隼汰　26分53秒（11）〔8〕
▽4区（6.97キロ）
大平　修市　24分23秒（8）〔4〕
▽5区（2.30キロ・女子）
栗原　緑　**7分19秒**※区間新（7）〔1〕
▽6区（7.57キロ）
稲葉　翔太　26分49秒（5）〔7〕
▽7区（9.10キロ）
樅木　謙雄　29分17秒（5）〔2〕
▽8区（8.79キロ）
森川　勝己　32分18秒（4）〔5〕

ZoomUp

―湯前人の輝きに迫る―

陸上に前向きになれた3年間。夢は今、姉から妹へ―。

■平成28年7月以降の栗原さんの主な成績

日付	大会	種目	成績	備考
7月26日	中学校通信陸上熊本県大会	女子共通1500m	2位	※九州大会出場
9月16日	球磨人吉中体連秋季陸上大会	代表女子1500m	1位	※大会新記録
10月18日	球磨人吉中体連駅伝大会	女子1区（3km）	区間賞	
11月27日	熊本甲佐10マイル公認ロードレース	女子5km	中学生1位	※全体21位
12月18日	球磨一周駅伝大会	5区（2.3km）	区間2位	※姉・緑さんが区間1位

心に灯った闘志

湯前中学校の陸上部に所属し、めざましい活躍をみせてきた栗原泉さん。「球技が苦手だったので、走りで頑張りたかった」と小学4年生から陸上を始めた。当時から校内の持久走大会ではだれよりも早くゴールテープを切っていた。

中学校に進学し本格的に陸上を始めた。「1年生のころはつらくて、本当にやめたいと思っていた」。当初はハードな練習に気持ちがついていかなかった。なんとか練習に耐え、徐々にタイムを伸ばした。初めての中体連駅伝大会では1年生ながらエース1区を任され、2位でたすきを渡す活躍をみせた。

2年生の5月、県の大会で3位入賞。「頑張った分タイムが伸びたことがうれしかった」。結果が表れ始め、確かな成長を感じたことで、つらかった陸上が少しずつ楽しいと思えるようになってきた。その数カ月後、泉さんは全日本中学校通信陸上県大会2年女子800㍍で2位となり、初となる九州大会の切符を手にした。

陸上に対して前向きになってきた泉さんに強い思いが生まれた。「全国大会に出場したい」。意識が変わり始めた。起床は朝5時半になり、部活動の朝練の前に自主練習を始め、練習日誌も毎日書いた。「悪い結果でもすぐに切り替えて頑張ることができるのが自分の強み」と話す泉さん。普段は陽気でポジティブな性格だが、心の内でだれにも負けない闘志を燃やした。

「感謝」の気持ちで成長

意識が変わり始めると周りのことも見えてきた。大きな声援、励ましの声。家族や仲間、地域の支えが力になっていることに気づいた泉さんはたくさんの人に「感謝」の気持ちを持つようになった。「熱意を持って指導してくれる先生の期待に応えたかった」と恩師、久間章弘（きゅうまあきひろ）監督（35）にも走りで感謝を伝える姿勢をみせた。泉さんは何事にも一生懸命になった。生徒会の役員も務め、文化祭やスポーツレクリエーションなどにも積極的にかかわった。

3年生になった泉さんは、さらなる飛躍をとげる。7月の通信陸上県大会女子共通1500㍍。4分42秒00のタイムで2位を記録。1位とわずか0.16秒差で惜しくも全国には届かなかったものの、2度目となる九州大会の出場権を獲得した。人吉球磨郡市中体連秋季陸上では代表1500㍍で大会新記録を樹立。甲佐10マイル公認ロードレースでも5㌔を走り中学生1位となるなど快進撃をみせた。「甲佐10マイルでは中学生の先頭についていき、ラスト500㍍でスパートをかけることができた」。苦しい終盤でも負けない。感謝の気持ちを持つことでいつのまにか体だけでなく、強い心も備わっていた。

夢は受け継がれる

12月の球磨一周駅伝では高校で陸上を続けている姉の緑さん（千原台高3年）が湯前A、泉さんがBチームとして5区に出場し、姉妹で区間を快走。緑さんが区間賞、泉さんが2位を獲得した。「一番身近な目標の姉と、区間1、2位をとれてよかった」と笑顔で話した。

3月に卒業を控え、進路を決めかねていた泉さん。その迷いを打ち消したのは姉の走りだった。12月3日、福岡県で行われた3000㍍の記録会。緑さんは妹が見守る中、積極的なレースを展開し、自己ベストを大幅に更新する9分44秒16のタイムを記録した。けがに苦しみ超えることができなかった10分台の壁を初めて超えた瞬間だった。その走りを見た直後、「私も同じ高校で頑張りたい」。決意は固まった。

父親の辰也（たつや）さん（52）は「朝自分で起きて練習に行ったり、年間のスケジュールを立てて行動したりして、親に頼らず自分から動けるようになってきた。高校でも厳しい環境が待っていると思うが、陸上を通して人間性に磨きをかけてほしい」と話し、久間監督は「本人の意識が変わり出してから走りも変わり、結果がついてくるようになった。高校でも今までどおり家族や仲間を大切に、心の支えとして頑張ってもらいたい。熊本で一番のランナーになって湯前を盛り上げられるような走りを期待している」とエールを送る。

泉さんは「高校では姉が果たせなかった九州駅伝出場と都大路出場を目指す。最後まであきらめず勝負をかけられるような気持ちの強い選手になりたい」と意気込みを語る。泉さんは次のステージでさらなる飛躍を遂げようとしている。

栗原　泉さん（湯前中3年＝上染田）

Profile：くりはら　いずみ

湯前小～湯前中。小学4年生から陸上を始め、湯前中陸上部に所属。2年前に中学通信陸上熊本県大会2年女子800㍍で2位となり、九州大会初出場をつかむ。昨年9月には女子共通1500㍍で九州大会出場、平成28年球磨人吉中体連秋季陸上代表女子1500㍍で大会新記録、11月27日、甲佐10マイル公認ロードレース女子5㌔で中学生1位を獲得するなどめざましい活躍をみせた。「一番身近な目標」とする姉の緑さんは陸上の強豪、千原台高校に在学中。

新年明けましておめでとうございます
皆さまには、本年もご家族おそろいで
輝かしい新春をお迎えのことと
お喜び申し上げます
昨年も町政運営に多大なお力添えを
賜りましたことに心からお礼申し上げます

湯前町長 鶴田（つるだ） 正巳（まさみ）

地域の防災・減災に努める

東日本大震災から5年が経過し、復興への歩みを加速しようとする矢先、2度にわたって震度7の地震が熊本を襲いました。日本中が改めて自然災害の恐怖と常時の備えの重要さを痛感した1年でした。

本町に現存する相良700年の文化は、当時から「安心・安全な地域」であることを示しており、平成16年の台風被害以降、大きな被害はありません。しかし、熊本地震以降、各地で大きな揺れを観測するなど、予断を許さない状況です。本町も各機関と連携を図りながら、地域の防災・減災に努めてまいります。

昨年、復興支援として地元木材を被災地に提供させていただきました。現在4000戸以上の仮設住宅が県内に建設されるなど、一歩一歩進んでいますが、復興には長い時間が必要です。1日でも早く、皆さまが笑顔を取り戻せるよう支援を継続してまいります。

資源を活かした地方創生

人口急減・超高齢化という課題に対し、各地域が特徴を活かした社会を創生しようとしています。本町も最大8762人であった人口が平成27年度国勢調査で4000人を割り込み、今後さらに減少する予測がなされています。

昨年から人気漫画「ワンピース」のラッピング列車が人吉球磨の田園を走り、まんが美術館では「くまモン頑張れ絵」展、ワンピースの展示を行い、全国から足を運んでいただいています。

町内にある空き家の改修や常設の漫画図書館・カフェの新設など駅前の再開発にも着手し、本格的な地方創生が始動しました。「第40回全国育樹祭」で表彰を受賞した本町の森づくり活動を通して健全に育つ森林や、国指定重要文化財の城泉寺、八勝寺などこの町には先代から受け継がれてきたすばらしい財産があります。これらの資源を磨き上げ、特色を活かした地方創生に取り組んでまいります。

住み続けたいと思えるまちづくり

国は「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」の「新・三本の矢」を軸に、50年後も人口1億人を維持し、だれもが活躍できる「一億総活躍社会」を目指しています。

本町では基幹産業である農林業などの振興を図るとともに住環境の整備を計画的に進めてまいります。本町の高齢化率も40パーセントを超え、老若男女問わず能力を発揮し、ご活躍いただくことが必要となっています。全町民が健康で生きがいを持って暮らせるよう健康寿命の延伸や子育て支援を推進します。

ことしも「活き活きと輝き誇れるまちゆのまえ」の実現に向けて全力で町政運営に取り組んでまいります。結びに、ことし1年が町民の皆さまにとって健やかで輝かしい年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

平成29年　元旦

町民の皆さまにおかれましては
希望に満ちた平成29年の新春を
晴れやかにお迎えのことと、心から
お喜び申し上げます。年頭に当たり
湯前町議会を代表しまして
新年のごあいさつを申し上げます

湯前町議会議長 山下（やました） 力（ちから）

新体制10人でスタート

11月20日に執行された町議会選挙で10人の議員が誕生し、11月30日の初議会では、議長や副議長の選挙、常任委員会委員の選任を行い、新しい体制がスタートしました。

選挙では、33年ぶりに選挙公報が発行され、議員一人一人の主張・公約を町民の皆さまにお示しし、約束をさせていただきました。議員一同、任期4年間このことを忘れることなく、議会活動に精力的に取り組んでまいりますので、町民の皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

議会改革元年、議員力の向上

湯前町議会では、町民から聞こえてくる議会不信・議員批判の解消を差し迫った重要な課題と捉え、先の12月定例会において、みずからの改革・改善を行うための、「議会改革調査特別委員会」を設置しました。

この委員会では、議会・議員のあり方について総合的に調査研究していきますが、特に「議会力・議員力の向上」「開かれた議会を目指す」という2点を重点的に検討したいと考えています。その結果として、町民の信頼を取り戻し、住民を代表する機関としての責務を十分果たせる議会となるよう、不断の決意で取り組んでまいります。

人口減少時代に向けたビジョンと責任

平成27年10月に発表された「湯前町人口ビジョン」では、2035年に町の人口が3000人を割れ込み、2060年には1627人と、現在の半分以下まで人口が減少するという予測が出ました。

人口減少が町民の暮らしに与える影響は大きく、税収減による行政サービスの低下や、生活関連サービスである小売業・飲食業・医療機関・公共交通などの縮小・撤退、担い手不足による農林業の衰退、地域コミュニティの機能低下などが危ぶまれています。

このように、厳しい人口減少時代を迎えるに当たり、私たち議員は、新たな時代感覚と崇高なビジョンを持って、決して、次代を担う子どもたちにツケを回すことがないよう、責任世代としての役割をしっかりと担い、町民一人一人が、「湯前町に住んで良かった」と実感できるまちづくりに、これからも全力を注いでまいります。

結びに、町民の皆さまにとりまして、本年が輝かしい一年となりますことを心よりご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

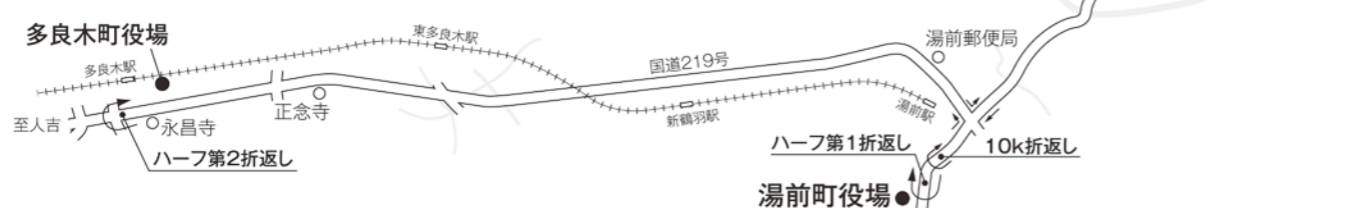
平成29年　元旦

奥球磨の熱い冬、開幕―。／第5回公認 奥球磨ロードレース大会

第５回公認奥球磨ロードレース大会が１月15日に水上・湯前・多良木の３町村で開かれ、総数645人が冬の奥球磨を疾走。日本を代表する実業団や大学のアスリートたちによる熱戦が繰り広げられます。

ハーフマラソンの部（一般男子）には４年連続の出場となる川内優輝（ゆうき）選手（埼玉県庁）をはじめ、八木勇樹（ゆうき）選手（ＹＡＧＩランニングチーム）など、実業団・大学生の招待選手24人を含む150人のランナーが出場。地元出身の西智也（ともや）選手（拓殖大３年＝多良木町出身）や、上田結也（ゆうや）選手（創価大１年＝湯前町出身）らも参戦し、レースを盛り上げます。昨年から新設されたハーフ・女子の部には、９人の招待選手を含む24人が出場し頂点を目指します。皆さんもランナーたちの熱い戦いをぜひ沿道で見てみませんか？

コース図 （財）日本陸上競技連盟公認コース

多良木町役場　多良木駅　東多良木駅　至人吉　永昌寺　正念寺　ハーフ第2折返し　国道219号　新鶴羽駅　湯前駅　湯前郵便局　ハーフ第1折返し　10k折返し　湯前町役場　国道388号　岩野小学校　5k折返し　上球磨消防署東分署　水上村役場　至日向　奥球磨ループ橋

開催日

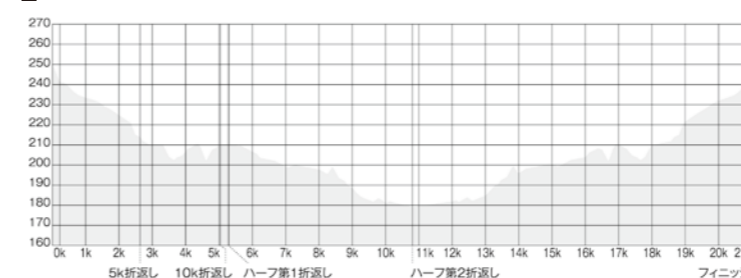
1月15日（日）

開会式

1月14日（土）午後４時～
水上村岩野公民館

表彰式

レース終了後、
午後12時40分～
水上村立水上中学校体育館

コース高低図

スタート時刻

9:20～ 中学生男子（5キロ） → **10:00～ 女子フリー（5キロ）** → **10:45～ ハーフマラソン（男女）** → **11:00～ 高校生男子（10キロ）**

［見方］
招待選手　選手名（せんしゅめい）／実業団名／持ちタイム（ハーフ）／ナンバーカード
熊本県出身者以外は細字

川内 優輝（かわうち ゆうき）　埼玉県庁　1時間2分18秒　1

坪内 淳一（つぼうち じゅんいち）　黒崎播磨　1時間4分8秒　2

八木 勇樹（やぎ ゆうき）　YAGIランニングチーム　1時間1分37秒　3

渡邉 大輔（わたなべ だいすけ）　トヨタ自動車九州　1時間3分37秒　4

西 純平（にし じゅんぺい）　旭化成　無し　5

セルオド・バトオチル　NTN　1時間2分10秒　6

田中 佳祐（たなか けいすけ）　富士通（熊本県出身）　1時間2分38秒　7

藤本 拓（ふじもと たく）　トヨタ自動車　1時間1分31秒　8

佐藤 寛才（さとう ひろとし）　小森コーポレーション　1時間4分3秒　9

内田 翼（うちだ つばさ）　青山学院大学（熊本県出身）　1時間5分42秒　10

小早川 健（こばやかわ たける）　東洋大学　1時間3分17秒　11

堀合 大輔（ほりあい だいすけ）　駒澤大学　1時間3分54秒　12

高田 凜太郎（たかだ りんたろう）　東海大学（熊本県出身）　無し　13

大殿 将司（おおとの まさし）　山梨学院大学　無し　14

竹山 直宏（たけやま なおひろ）　明治大学　1時間5分20秒　15

中川 翔太（なかがわ しょうた）　日本体育大学（熊本県出身）　1時間3分4秒　16

北村 一摩（きたむら かずま）　大東文化大学　1時間4分24秒　17

西 智也（にし ともや）　拓殖大学（多良木町出身）　1時間5分21秒　18

古場 京介（こば きょうすけ）　創価大学（熊本県出身）　1時間8分37秒　19

渡辺 大智（わたなべ だいち）　上武大学（熊本県出身）　無し　20

福田 有馬（ふくだ ゆうま）　国士舘大学　1時間12分45秒　21

神崎 裕（こうさき ひろし）　中央大学　1時間6分42秒　22

山舘 湧真（やまだて ゆうま）　東京農業大学　1時間7分3秒　23

菱刈 大貴（ひしかり だいき）　日本文理大学（錦町出身）　1時間9分25秒　24

樋口 紀子（ひぐち のりこ）　ワコール　1時間10分51秒　25

堀江 美里（ほりえ みさと）　ノーリツ　1時間10分26秒　26

小﨑 まり（おざき まり）　ノーリツ　1時間9分33秒　27

小指 有未（こざす ゆみ）　ワコール　無し　28

坂元 えり（さかもと えり）　肥後銀行　1時間16分20秒　29

久保 愛結美（くぼ あゆみ）　鹿児島銀行　1時間11分29秒　30

赤坂 よもぎ（あかさか よもぎ）　名城大学　1時間11分41秒　31

唐沢 ゆり（からさわ ゆり）　日本体育大学　1時間18分33秒　32

逸木 和香菜（いつき わかな）　福岡大学　1時間12分49秒　33

※選手名は12月7日現在。

INFORMATION

★交通規制のお知らせ

AM10:50～12:00まで 国道219号（多良木～湯前間）などが全面通行止めになります

公認奥球磨ロードレース当日で交通規制がかかります。沿線以外でも交通渋滞や混雑が予想されます。迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いします。

規制場所と時間

9:10～12:00
国道388号線（水上村役場～岩野小学校交差点）

10:50～11:30
県道43号線（湯前町役場～国道219号線）

10:50～12:00
国道219号線（多良木町 駅前交差点～湯前町　時の公園前交差点）

※コースに接する道路にも交通規制がかかることがあります。
※安全を保つため、予告なしに交通規制の時間や場所が変わることがあります。
※産交バスは通常どおり運行する予定ですが、湯前駅周辺が混雑するため、10分ほど遅れる可能性があります。

くわしくは奥球磨ロードレース大会実行委員会事務局（B&G海洋センター）までお尋ねください。
TEL 0966-43-4555

MONTHLY TOPICS
マンスリートピックス

11月12日（土）

たすきリレーで認知症啓発
RUN伴2016

認知症の人やその家族、住民らがたすきをつなぎ、みんなでゴールを目指す「ＲＵＮ伴ＴＯＭＯ-ＲＲＯＷ２０１６」が11月12日に湯前駅をスタート、人吉城跡をゴールとして全25区間で開かれ、１００人以上の参加者が笑顔でたすきをつなぎました。

認知症の人や住民がたすきをつなぐことで認知症への理解を深め、日本全国を安心して暮らせる地域にしようと同実行委員会が主催。ことしは初めて日本列島縦断が計画され、北海道から沖縄まで各地で開催されました。熊本県は４ブロックに分かれ、「人吉・球磨エリア」では湯前駅から国道２１９号を通るルートでゴールの人吉城跡を目指しました。

人吉球磨エリアの第１走者を鶴田正已町長が務め、ゆっくんが旗をあげてスタート。最短０．３キロから最長３．０キロの25区間でたすきがつながれ、参加者たちは力を合わせて32．７キロを走り抜きました。

第１走者を務めた鶴田町長と一緒にスタートする参加者

11月26日（土）、27日（日）

151台のバイクが集結
球磨んモンバイカーズキャンプミーティング

迫力満点のバイクがずらりと並んだ駐車場

第５回球磨んモンバイカーズキャンプミーティング（那須和広（かずひろ）代表）は11月26・27日に、ゆのまえグリーンパレス芝生広場一帯で開かれ、各地から１５１台のバイクが町に集まりました。

球磨人吉郡市のバイク乗り有志がつくる実行委員会がイベントを主催。イベントが始まる前にはバイクがぞくぞくと広場に集まり始め、駐車場にはハーレー・ダビッドソンなどの迫力のあるバイクがずらりと並んでいました。

会場には16の出店や湯楽里の豚汁の振る舞い、抽選会や先着２００人への球磨焼酎ミニボトルのプレゼントがありました。Ｔシャツ、トレーナーなどを販売する出店では売り上げの一部を動物愛護団体に寄附したり、実行委員会がイベントの寄付金で保育園などにクリスマスプレゼントを配ったりするなどしたりして、各地に笑顔を届けていました。

11月27日（日）

下村婦人会賞に林泰広さんの「奥くま秋霖」と湯楽里の「練り切り」
市房漬けの日感謝祭

第３回「市房漬の日」感謝祭は11月27日に下村婦人会市房加工組合で開かれ、同組合の漬け物を使ったレシピコンテストなどでにぎわっていました。

地域への日ごろの感謝を込めて同組合が開催。レシピコンテストでは「さて、漬け物でなにができる？」をテーマに同組合の漬け物を使って作られた料理24点を鶴田正已町長、人吉市「ひまわり亭」代表の本田節（せつ）さんなどが味、見た目、アイデアを審査。最優秀賞の下村婦人会賞には柚子こしょうと梅だよりを使った林泰広（やすひろ）さん（46＝下城）の和菓子「奥くま秋霖（しゅうりん）」と湯楽里から出品された「練り切り」が選ばれました。

澁谷雅代（まさよ）さんによる「身近な薬草で健康づくり」の講演やこんにゃく・柚子こしょう作り体験、手打ちそばや豚汁などの振る舞いもあり、参加者は笑顔で料理を楽しんでいました。

アイデア満点の24点にしたをうならせる参加者

11月30日（水）

まんが図書館・カフェの建設がスタート
まんが図書館・カフェ建設安全祈願祭

２棟が建設されるレールウイング

まんが図書館・まんがカフェ建設のための安全祈願祭が11月30日に、湯前駅レールウイングで開かれ、関係者14人が工事の安全を祈願しました。

同施設は駅前のにぎわいをつくろうと６月から住民や町関係者らが話し合い、常設の「まんが図書館」（現在は湯〜とぴあ内で期間限定の開設）とカフェを新設するものです。二つの施設はレールウイングの敷地内に建てられ面積はいずれも23.02平方メートルで完成は２月末ごろ。今後は西側に体験・展示ができるような施設も建設が予定され、完成後は運用方法などが話し合われます。

祈願祭では鶴田正已町長が「漫画は町の特徴であり先代が残してくれた資源。地域の皆さまからご意見をいただき、知恵を集結させた。その思いを形にしながら、しっかりと進めていきたい」とあいさつしました。

12月５日（月）

吉田美琴さんが湯前町長賞を受賞
税に関する作品表彰

町長から笑顔で表彰を受け取る吉田さん

平成28年度「税に関する作品」の表彰が12月５日、湯前小学校で行われ、吉田美琴さん（同校４年＝野中田１）が習字の部で湯前町長賞を受賞しました。

表彰は子どもたちに税への興味を持ってほしいと人吉球磨地区租税教育推進協議会（末次美代会長）が主催し、習字、標語、作文の部に郡市内の小学生から高校生までが応募しました。習字の部では学年ごとにテーマが決められ、吉田さんは「電子申告」の文字をていねいに書き上げました。吉田さんは「習字で賞をもらうのは初めてでうれしい」と笑顔で話していました。

吉田さんの作品を含む湯前小学校の全作品は昨年11月13日にまんが美術館一帯で開催された、ゆのまえ漫画フェスタ２０１６の会場内にも展示されました。

12月９日（金）

タブレットの使い方を学ぶ
シニア情報発信塾

横山さんからタブレットの使い方を学ぶ参加者

「シニア情報発信塾」が12月９日に、湯前駅前の「ゆのまえつながるスタジオ」（希紡館よこ）と瀬戸口区公民分館で開かれ、約20人の参加者がタブレット端末でインターネットやアプリなどの使い方を学びました。

町内に住む高齢者にタブレットの操作に慣れ親しんでほしいと湯前町ＩＣＴ利活用推進協議会（鶴田正已会長）が主催。ＩＣＴを使った地域づくりを研究する㈱ＫＩＲＩの横山正人さんを講師に午前中はゆのまえつながるスタジオ、午後は瀬戸口区公民分館で講座が開かれました。

講座の参加者は60〜70代が中心で、メモや写真、動画などの機能、インターネットを使った天気や電車の乗り換えの検索、漢字の書き取りや料理アプリなどの使い方を学んでいました。タブレットの便利な機能を知ろうと参加者は積極的に質問をして、笑顔で操作の仕方を学んでいました。

12月11日（日）

町内外60人がダンスで交流
チャリティーダンスパーティー

社交ダンスで交流を深めた参加者

湯前町社交ダンス愛好会（那須清文会長）の第６回チャリティーダンスパーティーが12月11日に農村環境改善センターで開かれ、人吉球磨郡市から約60人がダンスやカラオケ、料理などを楽しんでいました。

ダンスを楽しみながら地域の交流を深めてほしいと同会が主催し、湯前町教育委員会、文化協会が後援。ダンスは前後半で行われ、集まった参加者はブルースやタンゴ、ジルバ、ワルツなどの曲に合わせて踊りました。そのほかにもカラオケや参加者が腕によりをかけた手料理などを楽しみ、笑顔で交流を深めていました。

12月14日、同会は湯前町社会福祉協議会に会費の一部を寄附。会長の那須さんは「過去最高の人数でとてもにぎわった。今後はぜひ、若い人たちにも少しずつ興味を持ってもらえたら」と話していました。

※練習は週１、２回、馬場公民分館で開催。

12月13日（火）

踊りで笑顔を届ける
湯前保育園児が美空で交流

元気いっぱいの踊りで利用者に笑顔を届けた園児たち

湯前保育園（東理絵園長）と「ゆのまえ美空」（園田篤子代表）の交流会が12月13日に美空で開かれ、４、５歳児22人が利用者22人に踊りを披露して交流を深めました。

園児たちの元気を利用者に届けようと取り組まれ、昨年に引き続き2回目。園児たちは12月３日の同園発表会で踊ったダンスを利用者へ披露しました。東園長が「かわいい踊りと手作りの衣装を楽しんで」とあいさつ。園児たちは４〜６人ほどの5グループに分かれ、次々に踊りを披露し、大きな動きと声で利用者に元気を届けていました。利用者を代表して堤邦子さん（87）が「首を長くして皆さんを待っていた。踊りがとても上手でびっくりした。感動で涙が流れた。ありがとう」と園児たちに話しました。

踊り終えた園児たちは利用者一人一人からプレゼントを受け取り、お互い「ありがとう」と笑顔でお礼を伝えていました。

12月15日（木）

３万円を町に寄贈
万江みどりカラオケチャリティー

寄付金を鶴田町長へ手渡す万江みどりさんと教室の受講生

「万江みどりカラオケ教室」の参加者らによるカラオケチャリティーが11月26日に水上村岩野公民分館で開かれ、湯前町、多良木町、水上村から約70人が参加。講師の万江みどりさんと本町の受講生３人が12月15日に湯前町役場を訪れ、参加者から募った３万円を町へ寄附しました。

チャリティーは教室に通う受講生の発表の場をつくり、他地域との交流の輪を広げようと６年前から開催。教室は万江さんを講師として３町村で月１回ずつ開かれていて、本町の参加者は21人。チャリティーでは一人ずつステージでカラオケを披露し、参加者から募った募金を寄附しました。寄附は万江さんらから鶴田正已町長へ手渡されました。

万江さんは「和気あいあいとして、みんながステージでのびのびと歌ってくれた。健康づくりの一環としても開催しているが、練習を重ねてみんなとても上手になっている」と話していました。

本人や家族の不安を減らせるような在宅医療や介護の情報をお伝えしていきます

だんだんなぁ

在宅医療とは、医療・介護が必要になっても、住み慣れた我が家で生活できるよう医師や看護師が訪問して提供する医療サービスのことです。平成28年度から人吉球磨10市町村で人吉球磨在宅医療・介護連携推進事業連絡協議会（事務局＝あさぎり町）が立ち上がりました。「家族を在宅で看取るためにどうすれば良い？」、「退院した後の介護サービスなどの利用方法は？」など、本人や家族の疑問や不安を減らせるよう医師会の協力を得ながら課題の検討や、医療・介護の情報共有、住民の皆さんへの情報提供や相談窓口の設置などに取り組んでいきます。

２年前から人吉球磨郡市の医師会で在宅医療の情報を掲載した機関誌「だんだんなぁ」を作っていましたが、今後は広報や旬報などで定期的に情報をお伝えしていきます。

「だんだんなぁ」と言える最期を迎えられる地域に

人吉市医師会在宅医療担当理事　外山　裕二（ゆうじ）

国は、急激に進む少子高齢化社会の解決策として、地域の実情に合わせた在宅医療を各市町村にゆだねて進めています。当初、医療・介護費用を減らそうと在宅医療が始まりましたが、ほかにも良い効果が生まれています。

■在宅医療の良いところ

①自宅で看取られる人は住み慣れた場所で身近な人たちに寄り添われ、幸せそうに亡くなっていきます。

②先祖の魂が私たちの心に深く刻み込まれ、残された人の生き方にも大きな影響をもたらします。

③支える側も人の生きざま・死にざまに接し、真剣に「命」を考えることができます。

④いろんな職種の人がかかることで、人の輪が広がり、地域の活性化つながります。

球磨弁の「だんだんなぁ」という言葉はもともと京都の遊里で使われていて、意味は、「ありがとう」「お世話になりました」。とても、あたたかい言葉です。最期のときに、みんなが「だんだんなぁ」と笑顔でつぶやける地域になることを願っています。

在宅医療・介護連携推進事業のイメージ

18年民生児童委員として活躍し表彰を受賞した石見さん

民生児童委員委嘱状伝達式

新たに6人が任命、石見さんと太田さんが表彰を受賞

11月30日の任期満了にともなう民生児童委員の委嘱状伝達式が12月6日に湯前町役場で開かれ、再任した8人と新任の6人に厚生大臣と県知事からの委嘱状を受け取りました。

民生児童委員（※以下民生委員）はボランティアで高齢者や障害、子育てなどの困りごとの相談に応じていて、任期は3年。住民で、地域の実情をよく知り、福祉やボランティアに熱意がある人が選ばれています。

鶴田正巳町長が厚生大臣と県知事からの委嘱状をそれぞれに伝達。鶴田町長は「高齢者や子育て世代など、それぞれが悩みを抱えている。だれもが安心して暮らせるよう、これまでの経験を活かし、町民の生活に寄り添っていただきたい」とあいさつしました。

新任の委員の紹介があったほか、6期18年委員として活躍した石見勉（つとむ）さん（79＝上里1）には全国民生委員児童委員連合会会長表彰、5期15年の太田末男（すえお）さん（76＝古城）には九州社会福祉協議会連合会会長表彰が贈られました。

■民生児童委員と担当地区

氏名 ※太字は新任	担当地区	
太田　末男	浜川/下城/古城	※九州社会福祉協議会連合会会長表彰
丸山　羊一	上里２/中里２	※副会長
亀山 あやめ	野中田１/野中田２	
東　振作	上村/下村	※会長
永山　治実	上猪/中猪	※副会長
那須　清文	馬場/瀬戸口	
西　茂樹	上染田/下染田	
椎葉 ちとせ	主任児童委員	
谷山　和己	浅鹿野	
中島　保徳	野中田３	
有馬　鉄郎	上里１/田上	
川邉 美智子	上里３/中里１	
黒﨑　昌三	植木/下里	
澁谷　晶子	主任児童委員	

■退　任

氏名	在任期間	
石見　勉	18年（６期）	※全国民生委員児童委員連合会会長表彰
林田　桂子	10年（３期）	
猪熊　悦子	９年（３期）	
本山 佐和子	９年（３期）	
深水　正行	３年（１期）	
中武　典子	３年（１期）	

■新民生児童委員　※敬称略

谷山（たにやま） 和己（かずみ）（66＝浅鹿野）

中島（なかしま） 保徳（やすのり）（69＝野中田３）

有馬（ありま） 鉄郎（てつろう）（66＝上里１）

川邉（かわなべ） 美智子（みちこ）（64＝上里３）

黒﨑（くろさき） 昌三（まさみ）（61＝植木）

澁谷（しぶや） 晶子（あきこ）（64＝瀬戸口）

湯前のよか✶とこ発見！

～地域おこし協力隊です～

今月のリポーター✶森田（もりた）　明大（あきひろ）

食改さんから具材の切り方を学ぶ生徒

地元の味を知る授業

皆さん、お正月は何を食べましたか？

11月17日に、湯前中学校の２年生が家庭科の授業で「郷土料理」について学び、実際に調理実習をしました。今回作ったのは、人吉・球磨の郷土料理「つぼん汁」と季節の行事やお祝い事で食べられる行事料理の「なます」「赤飯」の３品。

中学生はあらかじめ調理の手順を画用紙に書いて教室に貼り、それを見ながら調理を進めていきました。生徒は８班に分かれ、一班３品ずつ作るので手際よく作らなければなりません。今回、調理を指導したのは「湯前町食生活改善推進員（以下 食改）※」の皆さん。一班に食改さんが一人つき、具材の切り方やだしのとり方などを教えていました。

つぼん汁の具材は地元で採れた根菜やちくわ・豆腐など具だくさん！一つ一つ食べやすい大きさに切っていきましたが、包丁の扱いに慣れていない中学生は、食改さんから包丁の持ち方や切り方を教えてもらい、ていねいに切っていました。料理が完成に近づくにつれて、いい匂いでいっぱいになる調理室。「もうすぐできるかな～？」と思っていると、食改さんがおわんに汁を少し入れ、テスターで塩分濃度を測っていました。表示された塩分濃度は"標準"。健康・栄養・味を考えた郷土料理が完成。「自分たちで作った料理の味は格別！」と料理を食べた生徒たちは自然と笑顔になっていました。

郷土料理について知る機会はなかなかありません。今回の取材で、骨かじりや煮しめなど人吉・球磨でよく見る料理について調べてみようと思いました。

※食生活改善推進員（ヘルスメイト）………「私達の健康は私達の手で」をスローガンに、食から健康を高めようとボランティアとして活動。現在人吉・球磨で約200人、湯前では18人。本町では今回の郷土料理教室のほかに、保育園での親子クッキングや金婚式のお弁当作りなども行っている。

今月のゆのまえがお　柴田（しばた）　浩二（こうじ）さん（49=浜川）

観光物産協会で地域の特産品の魅力を発信する柴田さん

「笑顔がすてき」「何かＰＲしたい」などたくさんの人を待っています！
（総務課　地域おこし協力隊まで　TEL 0966-43-4111）

ひとこと「古くから伝わる自然と水と地域が自慢です！」

ほかにもゆのまえ情報がいっぱい！くわしくは湯前町総合情報サイト、ゆのまえかじり内の「ゆのまえがお」へアクセス！

https://www.yunomae-kaziri.com/
（ ゆのまえかじり と検索してもアクセスできます）

「 6年生は町のＰＲ大使！ 」

協力隊のゆのまえ暮らし（隊員がゆる～く近況報告）

湯前小学校６年生が町のPR動画やパンフレットを作るために湯前町役場に来て、町の魅力について取材をしてくれました。元気なあいさつをして入ってきた児童たちは観光・イベント・特産品などについて積極的に質問。職員の話を聞く姿は真剣そのものでした。最後に児童たちは中村和弘教育長から「湯前町PR大使」としての活動を依頼され「湯前町PR大使」が誕生しました！

これから町の魅力を調査・発掘し、全国に「湯前」を広めて自分たちの自慢の町にしてくださいね！（森田）

多くの児童が積極的に手を上げて質問をしました

親から子へ、子から親へ、心をつたえる絵本

とつぜん、"おばけ"になってしまったママ。
いちばん心配なのは、４歳になる息子のかんたろうのこと。よる、12時をすぎると、かんたろうの部屋に現れて……。

ママがおばけになっちゃった！
のぶみ（著）　講談社

映画化で話題の一冊。ページをめくるごとに、溢れる涙

石油は庶民の暮らしに明かりを灯し、国すらも動かす。「第二の敗戦」を目前に、日本人の強さと誇りを示した男の物語。

海賊とよばれた男（上）
百田 尚樹（著）　講談社

いつ何をするかが書かれた身近な参考書

葬儀や法要のこと、保険や年金のこと、相続手続のこと、預貯金の名義変更のこと、相続税のこと。実際に身近な人が亡くなって様々な手続にとりかからなければならない人のために書かれた身近な参考書。

身近な人が亡くなった後の手続のすべて
児島 明日美（著）ほか　自由国民社

映画化を経て昨年アニメ化された人気作

玄武書房に勤める馬締光也は営業部では変人として持て余されていたが、新しい辞書『大渡海』編纂メンバーとして辞書編集部に迎えられる。個性的な面々の中で、馬締は辞書の世界に没頭する。言葉という絆を得て、彼らの人生が優しく編み上げられていく。しかし、問題が山積みの辞書編集部。果たして『大渡海』は完成するのか――。

舟を編む
三浦 しをん（著）　光文社

中央公民館図書室

読書のススメ

〇平日　8：30～17：00
〇土日・祭日　9：30～17：00
※貸出期間は２週間で、一人５冊まで。

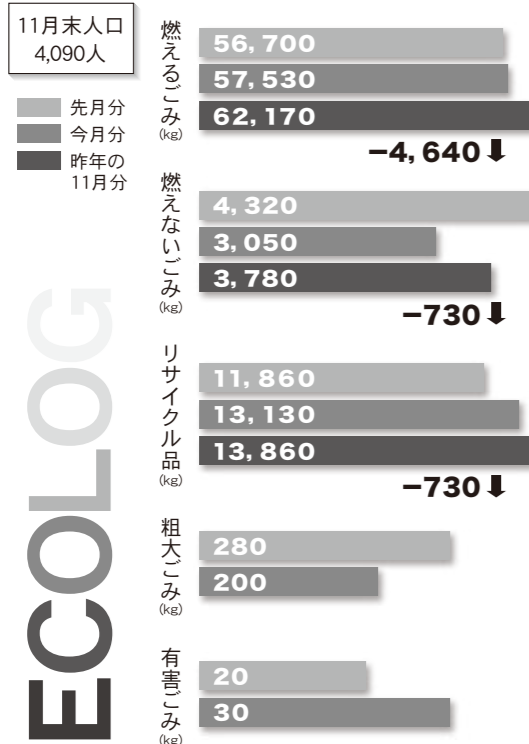
［お問い合わせ］中央公民館
TEL0966-43-2050

12月のごみ情報

「ごみを出さない工夫」でことしもごみ減量にご協力ください

ECOLOG

11月末人口 4,090人

品目 (kg)	先月分	今月分	昨年の11月分	昨年比
燃えるごみ	56,700	57,530	62,170	−4,640⬇
燃えないごみ	4,320	3,050	3,780	−730⬇
リサイクル品	11,860	13,130	13,860	−730⬇
粗大ごみ	280	200		
有害ごみ	20	30		

ことしも４日からごみ収集が始まりました。

年末・年始にかけてのごみは、分別・リサイクルできたでしょうか？

「ごみ分別」に加えて「ごみを出さない工夫」「買い物の工夫」で「ごみ減量」にご協力をお願いします。

リサイクルステーションからお願い

＊リサイクルは、「きれいなもの」が基本です。
＊汚い物、不燃物は持ち込まないよう、きちんと分別をお願いします！
※１月の不燃物収集は**4、18日**です。（第１・３水曜日）

人吉球磨ごみ分別アプリ稼働中です！

無料でダウンロードでき、とても便利ですので、使ってみてください♪（通信料は別途かかります）

（Android用）

（iPhone用）

―湯前町青年団だより―

がまだすっ!

団長　瀧森 道太
2016　VOL.11

青年団の話題

11・12月のわだい
を紹介します

11/3　町民文化祭　舞踊出場 &うどんバザー出店

舞踊ではたくさんの人から「よかったよ」という言葉をいただきました！うどんを買ってくださった皆さんもありがとうございました♪

11/13　漫画フェスタ　バザー出店

12/11　球青協スキルアップ研修会

カメラの勉強会に湯前から３人が参加しました！

11/26　社協誕生会

青年団情報

NEW INFORMATION
YUNOMAE SEINENDAN

1月22日(日)	青年団駅伝
1月29日(日)	熊本県青年問題研究集会
2月	里宮奉納ミニサッカー大会
3月5日(日)	球青協総会

工藤　孝昭（くどう　たかあき）（19＝中里１）

「１月の青年団駅伝ではみんなで力を合わせて優勝を目指したいと思います！皆さん応援よろしくお願いします！」

戸籍の窓

ご結婚おめでとう

♥郷　峻太（水上村）
豊永　香織（野中田２）

♥鉄田　昌功（上里３）
佐藤　美恭（埼玉県）

♥愛瀬　竜也（下城）
赤松　奈美（大阪府）

♥志水　悠馬（福岡県）
土屋　光（馬場）

たんじょうおめでとう（うぶごえ）

（保護者名）
池島（いけしま）　虎ノ助（とらのすけ）　鷹志（上村）
渕上（ふちかみ）　蘭（らん）　駿（植木）

ご冥福をお祈りします

廣末　ユキエ（下村）
尾前　健一（植木）
那須　フヂコ（野中田３）
上米良　一郎（下染田）
東　勇三朗（上染田）

香典返し

愛甲　鉄男（瀬戸口）
藤本　冨幸（馬場）
那須　利行（野中田３）

平成28年11月１日〜平成28年11月30日

保健師だより

あなたの大切な人は、健診を受けていますか？

〜健康増進計画ができました〜

保健師だよりでは健康増進計画を紹介してきましたが、いよいよ今回が最終回となりました。
「生活習慣病対策の推進」についてお話します。

特定健診受診の有無は、生活習慣病にかかる病院代に大きく影響しています!!

費用対効果：特定健診の受診有無と生活習慣病治療にかかっているお金

・生活習慣病治療にかかる費用は、特定健診を受けている人と受けていない人では約２倍違います。
・費用が高くなるということは、病気も重症化しています。
・特定健診を受診していれば、「ひどくなる前」に治療ができます。
　これは、特定健診に限らず、各種がん検診にもいえます。
　もしも、あなたの家族が健診を受けていなければ、とても心配ではありませんか？

放っておくと病気になるかも！でも予防できることもたくさんあります

特定健診の結果によっては、放置すると病院で治療が必要になることがあります。そういう人には保健師や管理栄養士がその予防のお手伝いをします。予防するための「ちょっとした心がけ」を一緒に考えましょう。健診結果説明会などの通知が来たら、ぜひご参加ください。

健康増進計画のスローガン

・特定健診、がん検診を毎年受診し体の変化を観察しましょう。
・保健指導や精密検査の対象になったときは、必ず受けましょう。
・体重・血圧を測定し自分の体をみつめる機会をつくりましょう。
・病気を知り、予防を心がけ、必要な時は保健センターを利用しましょう。

町民みんなで頑張る項目

・家族や知人と声をかけ合って、特定健診や各種がん検診を受診します。
・毎日、規則正しい生活を送り、体重・血圧を測定し、日々の体の変化を知ります。
・広報ゆのまえ・旬報、ポスターやパンフレットなどの健康情報に関心を持ち目を通します。
・自分の判断で病院受診をやめたり、薬を飲まないなど安易な行動はしません。

保健センターでは健康相談も行っています。健診結果の疑問や、食事や運動についてなどお気軽にご相談ください（℡0966―43―4112）。

〈湯前町保健センター　　文責　野々原〉

編集後記

editiorial note

▼明けましておめでとうございます。昨年もたくさんの人にお世話になりました。担当になり、作った広報紙は45冊目。一冊一冊作るごとに町の人や物に触れ、たくさんのことを学ばせてもらっています。皆さんに愛される紙面となるように、「広報ゆのまえ」とともに、私自身も進化する一年にしたいと思います。ことしもよろしくお願いします。

▼昨年は震度7の熊本地震が発生し、県内各地に大きな被害が出ました。南海トラフや人吉球磨南縁断層など、次にいつ大きな地震が襲ってくるかわかりません。報道や余震の回数が減っている今、もう一度防災を考えなければならないのではないでしょうか。

▼漫画や森づくりなど湯前の魅力を活かしたまちづくりが注目を浴びた一年でもありました。発明展や陸上で表彰を受ける湯前中学校の生徒たちなど物だけでなく人も大切な財産。たくさんの良さが町の中にあるので、皆さんもぜひ見つけてみてください。（宏）

［今月の表紙］
年の終わりと始めに行われる恒例行事。12月20日に湯前保育園でもちつきが行われました。園児が保育師と一緒にきねを持ち、ぺったんぺったんと楽しそうにもちをついて、新年の幸せを願っていました。

yunomae 01
Vol.427
JAN.2017
湯前町広報誌

奥球磨（おくくま）どんぶりフェア 2017

スタンプラリー期間
平成29年1月14日（土）～3月19日（日）

鹿肉のローストビーフ風どんぶり 800円

鹿肉を贅沢にローストビーフで食べる奥球磨ならではの味。清流で育った鮮の味噌汁付

水上村湯山1546
11：00－14：00(OS13：30)
17：00－22：30(OS22：00)
不定休　0966-46-0067
お食事・酒楽「やまちゃん」

森の恵みきのこそば 880円

季節限定！奥球磨産そばを石うすでひいた本格十割そばに、水上村産きのこのコラボ

水上村湯山 1474-1
11:00～17:00(OS16：30)
水曜　0966-46-0052
そば処「山の幸館」

ジビエどんぶり またぎ丼 1,300円

愛され続けてきた味わい！柔らかい鹿カツと甘辛いシシ肉が一度に楽しめる、山のご褒美どんぶり

水上村湯山47-8
11:00～15:00
水曜
0966-46-0111
水上村物産館「水の上の市場」

奥球磨鹿の野菜たっぷりカツ丼 780円

さっぱりした中にうまみのつまった鹿肉を野菜たっぷりでさらにヘルシーに（スープ・漬物付）

プラス1 ワンドリンクサービス

水上村岩野2491
11:00－22:00(OS21：00)
不定休　0966-44-0248
小さなレストラン「ふきのとう」

球磨の採りたて野菜の天ぷら丼・エビ天入り 980円

その日の採りたて野菜だから毎日ちがう！だから、毎日楽しみ、毎日おいしい！

プラス1 ワンドリンクサービス

レストラン 徳丸

特選球磨牛ステーキ丼 1,680円

おいしい水と空気で育った球磨牛を特製タレで焼き上げました。数量限定のためなくなり次第国産和牛になります

プラス1 ワンドリンクサービス

湯前町 1792-7
10:00～21:00(OS20:30)
（16:00～17:00準備中）
元旦
0966-43-4000
レストラン 徳丸

豚角煮と田舎風煮〆・鶏白湯ラーメン 880円

丁寧に煮出した鶏ガラスープにじっくり仕上げた角煮、奥球磨のお母さんの味・お煮〆が相性抜群

プラス1 ワンドリンクサービス

湯前町1588-7　10:00～21:00(OS20：00)
第2・4月曜（祝日の場合翌日火曜）
0966-43-4126
ゆのまえ温泉 湯楽里

元気に翔んで丼 540円

目玉焼きを乗せた鶏の生姜焼き丼！奥球磨産の安心食材と生姜のぽかぽかパワーで今年も元気に翔び跳ねますよう

多良木 883-14
8:00～15:00
不定休
0966-42-2126
弁当のくどう

球磨産和牛のえびす肉めん 1,500円

1日10食限定！寒い日に食べたい、すき焼き風ぜいたくラーメン

プラス1 ライスサービス

多良木1417-3
18:30～25:00　月曜（祝日の場合は翌日）
0966-42-2277
えびすてい

奥球磨ピザ風カレー丼 800円

トマトソースとカレーのWソース！イタリアンとカレーの美味しい出会いです（サラダ付）

プラス1 コーヒー1杯サービス

多良木2806-3
11:00～15:00/17:00～21:30（OS21:00）　不定休
0966-42-2901
レストラン ピザピノ

素敵な賞品が当たるスタンプラリー開催！
スタンプラリー開催期間限定！ プラス1 のサービスが付きます！

※ご意見投稿はこちらから

活き活きと輝き、誇れるまちゆのまえ
広報ゆのまえ1月号
TEL 0966-43-4111　FAX 0966-43-3013
URL http://www.town.yunomae.lg.jp/